



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本瓦斯株式会社

コード番号 8174 URL <http://www.nichigas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 眞治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 中山 雄樹

TEL 03-3553-1281

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	72,295	2.1	2,205	△39.5	1,897	△41.9	763	△35.7
22年3月期第3四半期	70,841	△10.3	3,644	—	3,267	—	1,188	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	19.39	—
22年3月期第3四半期	26.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	109,134	32,947	19.9	551.00
22年3月期	114,558	32,916	18.8	548.20

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 21,701百万円 22年3月期 21,591百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
23年3月期	—	6.50	—		
23年3月期 (予想)				6.50	13.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	9.3	7,200	0.7	6,600	0.9	2,600	0.6	66.01

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 44,961,525株 22年3月期 44,961,525株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 5,575,580株 22年3月期 5,575,252株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 39,386,083株 22年3月期3Q 44,553,862株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8
(2) 需要家戸数等の推移	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間において、当社グループのお客様数は前年同期に比べ40千戸増の924千戸（前年同期比4.6%増）となり、民生用需要のガス販売量がお客様の増加に伴い堅調に推移したこと等により連結売上高は722億9千5百万円（同2.1%増）となりました。

一方、利益面につきましては、新物流システムの運用による物流コストの削減に加え、容器、メーター等の効率的運用を図り、コスト全体の削減に努めましたが、原油価格が大幅に上昇した影響により、LPG及び都市ガス用LNGの原料価格が前年同期に比較して高値で推移し、ガス売上原価が増加したこと等により、営業利益は22億5百万円（前年同期比39.5%減）、経常利益は18億9千7百万円（同41.9%減）、第3四半期純利益は7億6千3百万円（同35.7%減）となりました。

なお、当社グループの売上高及び利益面におきましては、性質上季節的変動が著しいガス事業の占めるウェイトが高いために、下期に偏る傾向にあります。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間よりセグメントの区分を変更しております。このため、前年同期比較については記載しておりません。

#### [LPガス事業]

当社を主体とした当事業におきましては、民生用需要のガス販売量は温暖な気候の影響を受けたものの、お客様の増加に伴い堅調に推移いたしました。その結果、売上高は380億2千2百万円となりました。

なお、当事業におきまして、KDDIとの提携による中間事務作業を全く伴わない携帯電話とクラウドコンピューティングシステムの連携による配送システムは、物流価格の競争力強化を実現するために既存の物流概念を根本から変えた方式で、上期に完成した24時間稼働のハブ機能を持たせた千葉充填工場から、当第3四半期に神奈川県秦野市、横須賀市及び千葉県東金市の3か所に稼働させた無人のデポ基地に向け深夜トレーラーにより配送を行います。無人のデポ基地に到着したトレーラーは運転席を切り離して、そのまま容器置き場となり小口配送車両が横付けして荷下ろしを行う新物流システムの運用を開始いたしました。さらに徹底した物流の合理化を行うべく、今期中に無人のデポ基地2か所を茨城県水戸市と栃木県宇都宮市に竣工する予定です。

また、中間事務経費の大幅な削減を図るため、検針業務と保安業務のシステム化を進めております。

#### [都市ガス事業]

当社の都市ガス子会社4社で構成される当事業におきましては、天然ガスの販売価格が原料費調整制度により、第2四半期以降において前年同期に比べ高く推移いたしました。ガス販売量につきましては、LPガス事業と同様に民生用需要は温暖な気候の影響を受けましたが、お客様の増加に伴い堅調に推移したことに加え、産業用需要の伸びもあり前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、売上高は342億7千2百万円となりました。

**(2) 連結財政状態に関する定性的情報**

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ54億2千4百万円減少し、1,091億3千4百万円となりました。主な要因は、現金及び預金と受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ54億5千4百万円減少し、761億8千6百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少と返済が進んだことにより借入金が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ3千万円増加し、329億4千7百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.1ポイント向上し、19.9%となり、1株当たり純資産は2円80銭増加し、551円00銭となりました。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

通期の業績については、当社グループは引続き、顧客基盤の拡充によるガス販売高の伸張及びガス機器の普及・拡大に注力し、売上高は前年比9.3%増の1,110億円になる見通しです。比較的価格が安定的で中近東に依存しない天然ガスに切り替えるため熱量変更に伴う償却費や顧客基盤拡充に伴う経費等が増加しますが、お客様数の増加等により、営業利益は0.7%増の72億円、経常利益は0.9%増の66億円、当期純利益は0.6%増の26億円となる見通しです。

なお、平成22年4月30日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①会計処理の原則・手続の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

#### ②表示方法の変更

(連結損益計算書)

・「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,078	10,628
受取手形及び売掛金	9,459	11,426
商品及び製品	4,469	4,321
仕掛品	38	15
原材料及び貯蔵品	100	86
繰延税金資産	800	861
その他	814	372
貸倒引当金	△165	△156
流動資産合計	22,596	27,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,782	6,267
機械装置及び運搬具（純額）	39,382	40,513
工具、器具及び備品（純額）	447	444
土地	19,876	19,176
リース資産（純額）	517	304
建設仮勘定	1,092	1,370
有形固定資産合計	69,099	68,077
無形固定資産		
のれん	6,935	7,550
その他	624	626
無形固定資産合計	7,559	8,177
投資その他の資産		
投資有価証券	3,257	3,485
その他	6,464	6,414
貸倒引当金	△764	△763
投資その他の資産合計	8,957	9,136
固定資産合計	85,616	85,391
繰延資産	921	1,609
資産合計	109,134	114,558

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,519	13,976
短期借入金	21,172	21,605
未払法人税等	398	1,452
賞与引当金	135	389
その他	3,441	3,988
流動負債合計	37,667	41,412
固定負債		
長期借入金	33,773	35,518
退職給付引当金	2,029	1,967
役員退職慰労引当金	1,002	1,054
ガスホルダー修繕引当金	250	302
その他	1,464	1,386
固定負債合計	38,519	40,229
負債合計	76,186	81,641
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	4,386	4,386
利益剰余金	19,806	19,550
自己株式	△7,526	△7,526
株主資本合計	21,665	21,410
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36	181
評価・換算差額等合計	36	181
少数株主持分	11,245	11,325
純資産合計	32,947	32,916
負債純資産合計	109,134	114,558



## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	70,841	72,295
売上原価	38,041	41,609
売上総利益	32,800	30,685
販売費及び一般管理費	29,156	28,480
営業利益	3,644	2,205
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	63	66
不動産賃貸料	36	32
持分法による投資利益	24	22
保険配当金	—	28
その他	139	147
営業外収益合計	269	301
営業外費用		
支払利息	635	607
その他	11	1
営業外費用合計	646	609
経常利益	3,267	1,897
特別利益		
固定資産売却益	29	14
その他	0	0
特別利益合計	29	15
特別損失		
固定資産除却損	165	30
投資有価証券評価損	118	—
退職給付費用	184	—
その他	19	8
特別損失合計	488	39
税金等調整前四半期純利益	2,808	1,874
法人税、住民税及び事業税	942	716
法人税等調整額	388	279
法人税等合計	1,330	995
少数株主損益調整前四半期純利益	—	878
少数株主利益	289	115
四半期純利益	1,188	763

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは販売を主として行っており、報告セグメントごとに生産規模及び受注実績を金額あるいは数量で示すことは行っておりません。当社グループの売上高及び利益面におきましては、性質上季節的変動が著しいガス事業の占めるウェイトが高いために、下期に偏る傾向にあります。

## 1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しているため、前年同四半期実績については記載しておりません。

## 報告セグメント別販売実績

報告セグメント	当第3四半期連結累計期間 (22. 4. 1~22. 12. 31)	前第3四半期連結累計期間 (21. 4. 1~21. 12. 31)
L Pガス事業(百万円)	38,022	—
都市ガス事業(百万円)	34,272	—
合計(百万円)	72,295	—

## 2) L Pガス事業の販売実績

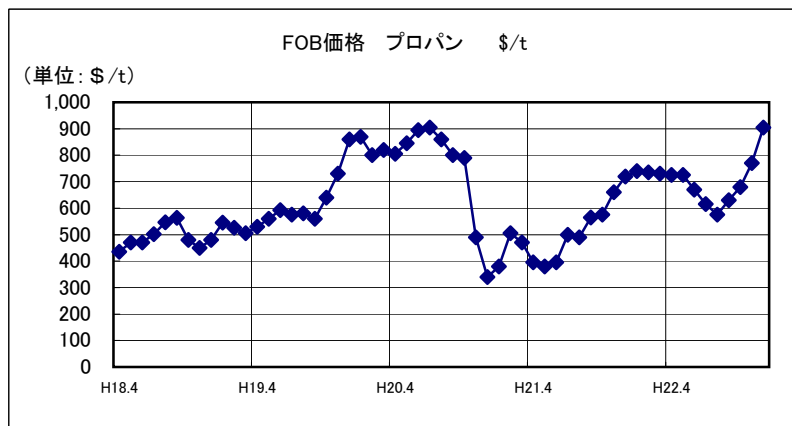
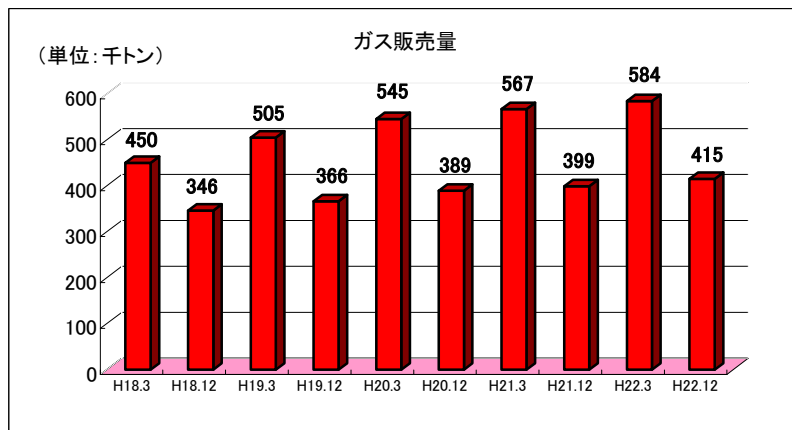
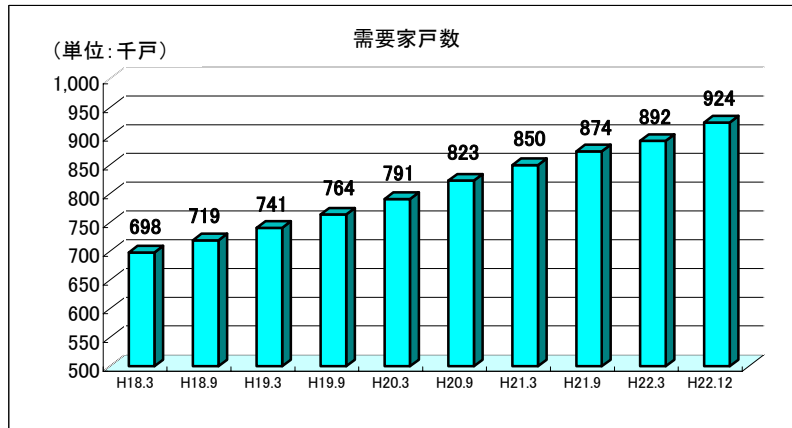
区分	当第3四半期連結累計期間 (22. 4. 1~22. 12. 31)	前第3四半期連結累計期間 (21. 4. 1~21. 12. 31)
ガス(百万円)	28,404	—
機器、受注工事他(百万円)	9,618	—
合計(百万円)	38,022	—

## 3) 都市ガス事業の販売実績

区分	当第3四半期連結累計期間 (22. 4. 1~22. 12. 31)	前第3四半期連結累計期間 (21. 4. 1~21. 12. 31)
ガス(百万円)	27,750	—
機器、受注工事他(百万円)	6,522	—
合計(百万円)	34,272	—

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引高は相殺消去しております。



(注) ガス販売量には、都市ガス事業における都市ガス(LNG)販売量をLPG販売量(千トン)にカロリー換算して含めております。